

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>松島本渡線、南港山東線は、慢性的に渋滞している市内の交通処理を目的とした主要幹線道路（外環状道路）の一部をなすものであり、中心部地域への過度な自動車流入を抑制し、外縁部の自動車交通の円滑化を図る和歌山市の骨格となる道路である。両路線の整備により交通混雑の緩和、歩行者の安全確保を図ることができることから、平成29年度中に松島本渡線、平成30年度中に南港山東線の完成を目指す。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>松島本渡線、南港山東線の早期完成を目指し、時間的コスト(人件費等)の削減に努める。</p>